

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 2月 26日

事業所名: 創伸館 放課後デイ 名神

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--------|--|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 整理整頓をし、利用者に不便がないように心がけている | 昨年懇談時に普段の様子を見たもらっていたが、コロナ禍でもあり、営業日以外で懇談を実施した |
| | 2 | 職員の適切な配置 | 常勤3名、児童指導員3名体制で運営している | スタッフだけの写真は無理があったので、保護者に知らせる方法を検討中。インスタを開始し、普段の活動を見てもらうことができるようにした |
| | 3 | 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 一目でわかるように、靴を脱ぐ場所で色を変える お知らせは、大きなホワイトボードに 荷物は、番号を書いたカゴに 各自に合わせたスケジュール表 | 大幅な変更があった場合は通信に載せる |
| | 4 | 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 日々の清掃・整理整頓 コロナ禍での消毒 | 部屋の様子も写真に写るようにし、毎月の通信に載せるようにする |
| 業務改善 | 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 普段からの利用者についての情報交換・伝達を行い、支援者が情報を共有するように心がけている | 時間を決めて情報交換していなかったもので、時間・項目を決めてミーティングをする |
| | 2 | 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 実施していない | 現在、予定していない |
| | 3 | 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 動画による同じ内容の研修を各自で行っている | 配置人数に余裕ができれば、外部研修も検討 |
| 適切な支援の提供 | 1 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 普段の利用者の様子を踏まえ、利用者とのアセスメントを行い、個別支援計画を作成している | 半年に1回の面談は、コロナ禍でもあり、利用者がいない営業日以外の日に実施した |
| | 2 | 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | それぞれの利用時間を考え、できるだけ集団支援に力を入れている | 利用者の様子は常に気にしているので、計画・予定は変更する場面があるが、個別支援計画から外れないように気を付けている |
| | 3 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 週間単位でバランスよく支援ができるように設定している | 支援計画に基づき、天候・人数・時間を考え、その日その時に最適な支援とスタッフで確認しながら支援をしていきたい |
| | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 急な欠席以外は、ほぼ計画通り支援を実施している | 利用者の様子は常に気にしているので、計画・予定は変更する場面があるが、個別支援計画から外れないように気を付けている |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 新しいプログラムをするとき、月の計画を立てるときは、スタッフで状況を共有しながら立案する | 慣れてきている部分もあるので、初心に戻りながら、各スタッフがスキルアップしていきたい |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 事前に計画を立てているので、その時にしかできないことをするようにしている | イベントだけでなく、日々の支援もレパートリーを増やしたい |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 固定した方がよいものもあるが、できるだけ、曜日を変える、回数を変える等気を付けている | 慣れてきている部分もあるので、初心に戻りながら、各スタッフがスキルアップしていきたい |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 集団支援を主に役割分担を確認している | 必要・不要の業務を仕分けしたい |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 支援終了後、短時間であるが、問題点、良かった点、気になった点の情報共有をしている | 支援終了後、短時間であるが、問題点、良かった点、気になった点の情報共有をしていく |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | その日にある程度の記録をして、翌日細かな記録をしている。改善点等は翌日話し合っている | その日にある程度の記録をして、翌日細かな記録をしていく。改善点等は翌日話し合っていく |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 日々の様子から、最終の1か月をかけて、次回の個別支援計画を作成している。 | 普段の会話を大切に、支援計画・支援につなげていく |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------------|--------|--|---|---|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 相談支援事業者からの呼びかけで、ケース会議に参加している | 今後もケース会議にはできる限り参加する |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 相談支援事業者、保護者からの呼びかけで、学校の担任、教頭等と情報共有している | 当施設からの情報共有はしているが、学校側からのアプローチはない |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供 | 学校との連携は常に行っているが、当施設から申し渡すことはまだケースがない | 保護者について、学校に当施設での様子を伝えに行くことがあった |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | コロナ禍のため、参加はしていない | 必要と感じた研修については積極的に参加する |
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 併設している放課後児童クラブとイベントを通して活動交流している | 今後ももう少し回数・機会を増やしたい |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | コロナ禍のため、参加はしていない | 世情を見ながら参加するようにしたい |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 毎回の説明はしていない 初回の契約時に説明後、変更のある時に説明 | 変更時、面談時に、説明をする |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 大幅な変更がある時、普段から利用者の様子を写真をメールしている | 変更時、面談時に、説明をする |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 前回から全く進んでいない。対応を聞かれると答えているが、支援者からの発信はできていない | 年2回の面談、普段の連絡から必要と感じた場合は、書籍などを使用し伝えるようにする |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 気が付いたことがあり、保護への連絡が必要と判断したときに報告している | 利用者の様子気を付けて観察し、何かあれば必要に応じて連絡・報告する |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | その都度行っている | 任せていただいていることに責任を感じ、日々利用者として接しているので、お互いに成長を願い、意見交換していきたい |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 父母会は実施していない | 父母会は予定していない、各家庭別に懇談会を実施予定 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 苦情に限らず、問題があったと判断したときには速やかに連絡し、面談の場を設定する | 普段の連絡にラインを使い、素早く対応できるようにしている |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 日々の連絡は、メール・電話・面談の順で必要に応じて情報伝達している | ・ライン助かります 対応はできるだけ速やかにしていきたい |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 毎月月末にその月の出来事や、翌月の目標等を通信としてお知らせしている | 普段の様子をリアルタイムでお知らせするために、インスタの利用を始めた |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 鍵のついた書庫で管理している | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|---|-------------------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 簡素化したものを重要事項説明書に載せている | | 今後、図案したものを作成する |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | スタッフ研修の際に確認している。長期休暇の時間に余裕がある時に実施予定 | | 防災マップ・災害時の連絡系統・コロナ対応などを目に入る場所に貼っている |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 普段から施設の方針の確認はしている | | 新規スタッフ面談時にも確認する |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 契約時必ず説明をしている 現在まで該当者はいない | | 契約時、面談時に確認する |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 利用開始時にアレルギーの報告をもらっている | | アレルギー一覧を作成する |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 二度繰り返さないように、報告書の作成をしている 今年度、該当0件 | | ヒヤリハット0件を目標にしている |